

ラメータとして PLOT の後に書く。CURV は多点間を滑かに結び LGRD は対数格子などである。応用命令には MOJI で平仮名 片仮名をかいたり ほかに漢字や地質で使う記号の素片などもある。

第7図はプロッターの外観である。第8図は作図例である。第9図はテストパターンである。テスト・パターンはプロッターの基本命令をたくさんふくんでいるのでシステムのチェックに用いられる。第10図は漢字と記号である。漢字と記号の命令はそれぞれ KANJ と MLIN である。

調査の結果を図で表示することは多い。測線図あるいは航跡図は調査内容に関係なく必要である。測線沿いの断面図たとえば地形 地磁気 動力値の曲線も成果の表示に役立つ。このとき横軸は時間軸 距離軸 ある方位に投影した距離軸などを使う。平面図としての等値線図たとえば等深線図 等磁力線図 等層厚線図なども地質調査には欠かせない。これらは基本的な図形表示であり このほか多種多様な図が必要になる。まだ定形作業になってない分野もある。音波探査の成果の図化などは 処理の難かしさではなく 入力のしかたの面倒さのために今後の仕事に残っている。プロッターをうまく使いこなすと 地質のような三次元的分布と長い時間の上に成立つ現象もかなりとらえやすく表現できるであろう。

§ N N S S と の 関 係

人工衛星測量システム (Navy Navigation Satellite

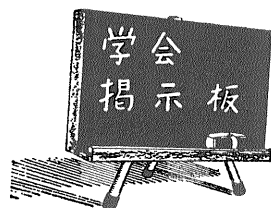
System, NNSS と略称) は元来人工衛星の送信する400 MHz と 150MHz の2チャンネルの電波を受信し そのドプラー・シフトから船の位置を計算し求めるものである。

しかし本船の NNSS は単に位置を出すだけでなくデータ集録も併せ行なうものであり Magnavox 社の製造になる model 200 という物理探査の仕様によるものである。NNSS では HP-2100A 12kW を中心に位置の計算やデータ集録を行なっている。Magnavox 社はシステム・メーカとして電算機に対しても責任を負うので独自の仕様と基準により耐久試験などを行なっている。

情報処理装置のメーカである横河ヒューレット・パッカー社は ヒューレット・パッカー社の製品をノック・ダウンしているから 電算機 YOHPAC-2100A は HP-2100A と全く同じ規格や仕様である。これは白嶺丸において YOHPAC-2100A を採用した大きな理由の一つである。電算機を同一にしておくことは部品や消耗品の互換性や保守の便利というような金物に関する面と 同一プログラムを使つたり書式を統一したりするソフト・ウェアの両面で便利である。また極度の故障を生じたとき電算機ごとと交換することも可能である。こうして相互に関係があり その使い方についてソフトウェアを中心に比較を行なうと 第4表の如くである。

この表中でプログラム類はデータ集録に関しては今後ハードウェアの増設がなければ余り増えることはないがデータ処理のばあいは逐次プログラムはふえ 処理内容は高度のものとなってゆくであろう。

(筆者は 海洋地質部)



- ・日本火山学会 1975 年秋季大会
- 1. 昭和50年10月8日 (木)~11日(木)
- 2. 1975年秋季大会
- 3. 「東北大学川渡共同セミナーセンター」国鉄陸羽東線川渡駅下車 2.5km
- 4. 日本火山学会
- 5. 東京都文京区弥生1-1-1 東京大学地震研究所内 日本火山学会 ☎ (03) 813-7421

・日本分析化学会

- 1. 昭和50年10月14日(火)~16日(木)
- 2. 第11回応用スペクトロメトリー東京討論会
- 3. 東京都千代田区大手町1-1-3 東京都立産業会館
- 4. 日本分析化学会ほか4団体

- 5. 東京都渋谷区本町1-1-5 東京工業試験所内 社団法人 日本分析化学会気付 東京討論会実行委員会 ☎ (03) 378-1991

・日本地球化学会

- 1. 昭和50年10月23日(木) P.M. 2.00 25日(土) A.M. 12.00
- 2. 1975年地球化学討論会 課題討論「宇宙物質の化学」
- 3. 東京都八王寺市下柚木1987-1 大学セミナー・ハウス ☎ (0426) 76-8511 (代) 交通 中央線 八王寺駅下車 京王線 京王八王寺駅下車
- 4. 日本地球化学会 共催 日本化学会
- 5. 東京都世田谷区深沢2-1-1 東京都立大学理学部 半谷 高久 ☎ (03) 717-0111 (内線312)

[注] 1. 開催年月 2. 会合名 3. 会場 4. 主催者 5. 連絡先(掲載順位は原稿到着順)